

E-5

電子の目で見えるミクロの世界 身近な生きものたちの不思議

「電子の目で見えるミクロの世界」のブースでは、ぜひとも走査型電子顕微鏡を実体験していただきたいと思います。

ここでは生物科学科1年生 30 名が実習「生物学基礎実験」の中で課題観察した 8 つのテーマに関する写真をパネル展示として発表します。いずれも「私たちの身近な生きもの」を対象とした観察ですが、普段から見慣れた生きものであっても、スケールを変えて改めて見つめてみると、新たな発見や想像もしなかったような世界の広がり直面することができます。

ハチ目昆虫・カブラハバチ卵内で形成中の胚(×250で観察)



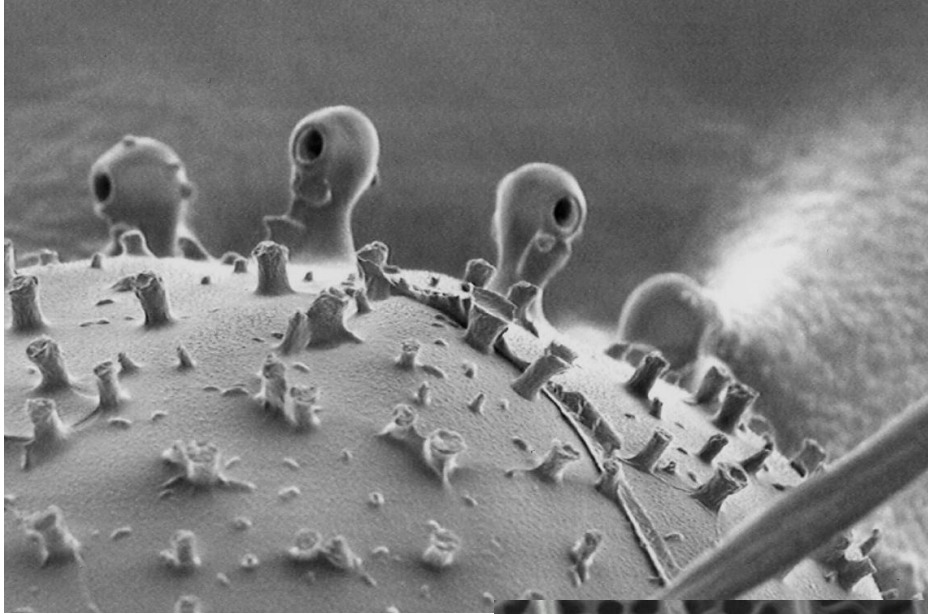
TM-1000

2005/05/12 11:00 L

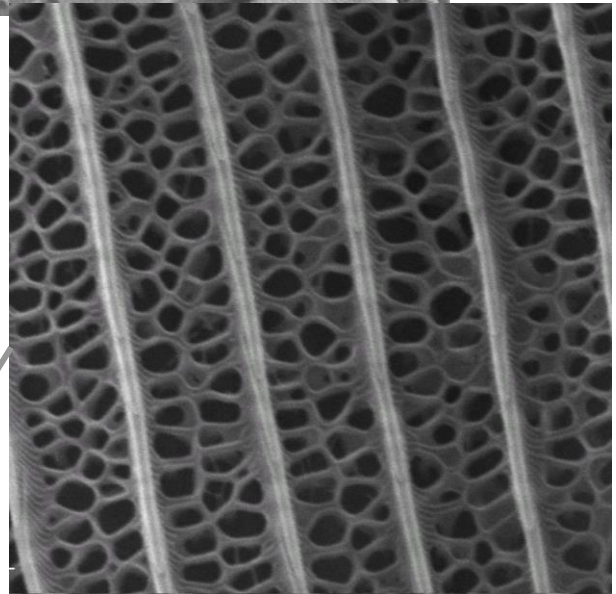
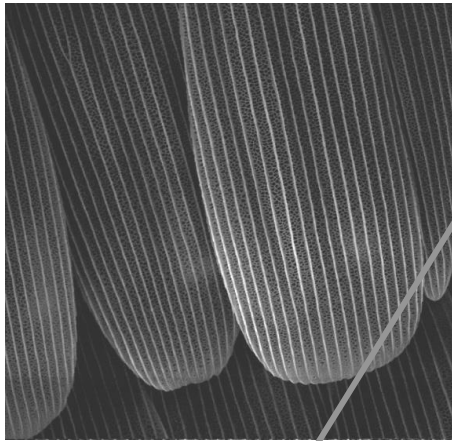
200 um

信州大学理学部生物科学科1年生（「生物学基礎実験」受講生），東城研究室

カメムシ^{もくこんちゅう}目^{たまご}昆虫^{せんたん}の卵^{くうき}の先端^とから空気^こを取り込む孔^{あな}(エアロパイル)($\times 3000$ で観察^{かんさつ})

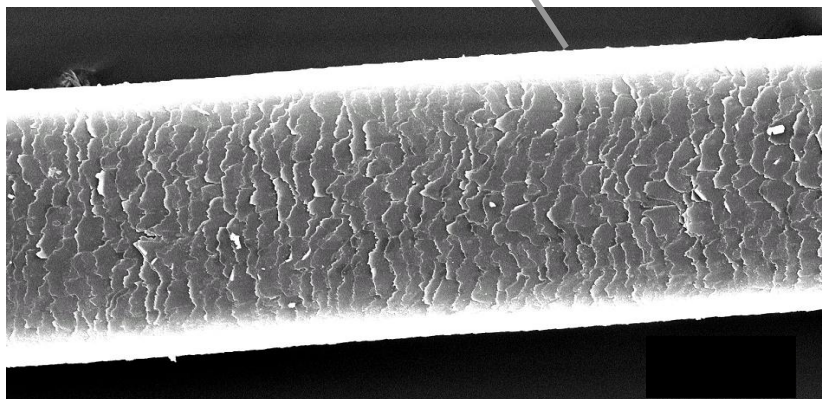


チョウ
目昆虫・カラ
スアゲハの翅^{はね}
の鱗粉片^{りんぷんぺん}
の右の写眞は
拡大図



($\text{やく} \times 1000$ で観察^{かんさつ})

($\text{やく} \times 7500$ で観察^{かんさつ})



ヒトの髪^{かみ}の毛^せ
($\text{やく} \times 500$ で観察^{かんさつ})